

本講演では、高等教育機関向けのシェアード情報環境参照モデルを開発するためのアイデアについて述べる。現在、日本の高等教育機関は、政府の財政的な困窮による厳しい予算削減に直面しており、その結果、大学における ICT に関する専門的な人材が不足している。このような状況は、サイロ化されたシステム環境から抜け出すことをさらに困難にしているが、GAFA のような大手クラウドベンダーはスケールビリティの力により市場での支配的な地位を強固なものにしてきている。今後、国際的なトップレベルの研究大学としてより効率的で効果的な情報環境を整備するためには、ビジネス、情報、テクノロジーキテクチャの共通性に基づいたシェアード情報環境参照モデルを開発し、その実装を進める必要がある。本講演では、TOGAF<sup>®</sup> および関連する 標準に基づいてそのプロセスを始動するための方法を考察する。